

東日本電協定期委員会を開催する

東日本電気協議会は十一月二十九日十三時より、東京地本会議室において、第二十七回定期委員会を開催し、委員九名、役員十五名の出席、来賓として東日本本部から樋口執行委員、そして高崎から新加入した佐々木亮君も参加し、委員会は岸副議長の司会で開会しました。

議長には大宮地区電協の近内委員が就任し、メンテ合理か以降、事故が多発している大宮でも黒機構内でP会社社員の死亡事故が発生して、その後も触車等重大な事故が発生している。技術継承の名の基に合理化された現れだと思ふ。他の支社でも同様ではないのか。技術継承と言われ中で、今の若手はパソコンが使えれば仕事をしていると思つている。現場を知らないのP会社にも支障がきたしている。仕事総点検運動を強化して労働条件の改善を図っていきたい。7年前に社会人が加入したがその後は無く、組織拡大は重要であり取組を強化して行きたい。と挨拶しました。



高橋議長挨拶

安倍暴走内閣が急遽解散来月に選挙がある。平和や労働法制の課題等は重要であり多くの問題がある。反自民の立場で安倍政権に歯止めをかけていきたい。事故や設備故障が多くなりマニュアルや対策が多く出されている中、職場が振り回されている。最近では大曲で感電事

故があり、三大労災が無くなることがない。事故の多くはP会社で発生し労働条件の問題も関わっている。JRでは1年目から監督員になるが、それで安全が守れるのか。情報の共有化をしながらそうした問題と合わせて労働条件の改善をしたい。来年の交流会は長野で行われる。組織拡大についても高崎で拡大しているので全体のものとして広げる議論をしよう。

樋口エリア執行委員

- ① 年末手当について北海道、四国は減額で他は横ばいとなった。要求は3.5ヶ月で、回答は3.12ヶ月となった。
- ② 労働条件改善について職場から運動を作って行こうと提起をしてきた。地方オルグをしているところ。
- ③ 職協における施策の見直し、運転車掌以外は委託化が進んでいる。山手線ホームドアが出来れば車掌の合理化。駅遠隔システムお客様のサービス低下になっている。無人化も進み一名対応では事故、券売機故障も対応が出来ない状況。
- ④ 組織強化拡大について各地方の取組に学び、各地方に執行委員が行く。高

崎で20歳の新採が加入した。職協も組織拡大の交流会を「もう一人の仲間を作る」取組をしてもらいたい。

北島全国電気連絡会事務長

四国は直轄検査をしている。西日本は5年前から外注となった。北海道は新幹線工事に人手を取られ在来に手が回らない。4組合で会社に意見を申し入れている。四国年間600時間超勤又片道4時間の行程状況になっている。西日本では触防の交渉と手引きの作成を求めてきている。

各電協からの発言

【水戸】

6月1日から広野竜田間で運転再開、ライフラインの回復に携わり線量が多かった為、尿線診断・血液検査が行われる。会社と交渉して勝ち取った。血液検査で掛かった場合紹介状を出す。水郡線でCTC工事の為、メセの派出設置の提案があった。管理1名・一般2名で3年間。若手が東労組から国労は革マルだと言われていた。交流をしてきたが最近横槍が入り離れていってしまった。

【神奈川】

メンテから13年仕事が行き詰っている。直轄区分が曖昧になり説明もないので平成採は何でも受けてしまう状況。

若手の研修が多いことや工事の増大で本来の管理業務が出来ない状況。技術継承絵に描いた餅になってきている現場での教育が必要。要員不足から超勤有りきで障害復旧が出来ない状況も出ている。女性社員が入ってきている状況でデボ等の整備も必要。組織拡大では電力で1名加入した。エルダー雇用では条件が悪く退職して再就職する実態もある。また労加入も難しい。

【千葉】

境界作業マニュアルについて団交を行ってきたが、会社側が知らないため交渉と言うより勉強会になっている。指摘し修正をさせてきたがいまだに現場配布がされていない。川崎事故対策は千葉では合わない、指揮命令系統で丸投げでありJRが確認をしなくて良いのか。全線を線閉としているが隣接線を取るの当たり前で、2回目の交渉でもJR側の確認はしないとしてきた。連動変更等で新規設備が増える中、東電所との引継ぎルールが無い問題がある。組織問題では鉄事採用でもポテ探と変わらない高学歴になり、若手と話す機会が減ってきている。

【盛岡】

電力では副メセ長の役割を果たしていない。若手中心メセが出来た八戸メセ

は新幹線メセだが在来線の障害にも行かされている。若手の7年教育では配属先によって技術力の差が出てきている。また科によって超勤の差がかなりある。北海道新幹線の開業に向けJR北海道から検査の立会いに来ている。組織拡大では保線で2名が加入した。分会でも野球を通して交流をしたり月一回の飲み会を開催しているが、組合の話を中々出来ない。



【高崎】

技術継承教育が進んでいない。計画も副メセ長ではなく主任が行っている。技術教育については7年目までの若手が中心で、技セいる年配者の教育はゼロになっている。また新しい設備では解ら

なり、年配者にも配慮するよう求めている。コンプライアンスでは河川法についてメセでも対処してきたが、今後は企画で行う事になり危惧をしている。組織拡大では20歳の若手が加入し大変うれしい。

職場の声をつなごう

【秋田】

先月P会社で感電事故が発生して今入院している。一番経験の少ない人が監督員になり事故となった。停電箇所時間がずれている工事だった。全停電になってから作業をするべきだったが、そこまで監督員が教育されていたかは判らない。要求書を出しているところ。設備関係の交渉を行ってきた。雪害時の安全に関わる問題で通路確保を求めた。特巡箇所は秋田で2箇所あり障害等で出る場合、休日の2名体制では要員少ないので、3名体制を要求してきたが会社は列車を止めて行なってもらうと認めなかった。組織拡大では昨年若手が加入して今年も頑張っている。

【新潟】

電気と工務が一緒に工務協議会としておこなっている。22名中5名が電気で2名がエルダー。各メセ助役を入れて

6名で仕事が回りきらなく、本来業務を超勤でこなしている。技セからも助勤を取っているが調査物が多く検査も間々ならない。工事も輻輳して大変になっている。保守範囲も広く1日200キロ車に乗り、酒田に検査に行くときは一泊になる。

【仙台】

新幹線の架線点検作業で保守用車を使うと、時の終了間際まで仕事をしている。そして仕事の終わりに燃料補給をする事が震災以降の支社ルールとなっており、保守用車を使うと作業終了が8時から9時になってしまう。超勤が当り前の夜勤はおかしいと申し入れている。陸羽東線の東長沢駅付近の踏切で女性が倒れていた。救急隊が搬送する際に踏切を通過しなければならなく大根原対策で通すのに時間が掛かり、生命の危険がある場合はJRの指示は聞けないと言われた事象があった。この事について支社で抑止判断が出来れば通してよいと通達が出された。今回事象が発生してから支社も回答しているが、救急隊だけではなく色々な事象があり、こうした現場実態をエリア電協で引き続き調査をして本社と改善に向けた交渉してもらいたい。

【新組合員（佐々木）】

東労組には少なからず不満を抱いていた。9月に同期が加入し同じ様な不満を抱いていたので私だけではないと思いついた。また職場の先輩の後押しもあり加入を決意した。これが組合員の一ひとりとして頑張っていきたい。

国労らしい運動を

【樋口執行委員】

本社本部の話なので、要求を上げてもらいたい。基本的に三重大事故は電気の課題であり、命に関わる問題なので本部も取組をしていきたい。

【議長集約】

前回の代表者会議でも提起をしたが、各分科で交流会での議論を基に要求作りして、各地方やり取りをしながら最終的には5月の役員会までに施策と安全問題を含めた要求をエリア本部に出していきたい。大根原対策の不明確な問題、施工何処まで出来ているのか。

施策の問題ではベテランと若手の技術断層でコミュニケーションが取れないとの話もあるが、組織拡大からもきちんと会話をしなければならぬ。また組合員どうしの意思疎通も大事で分会集会の開催も大変だが努力をしてほしい。安全問題については事故を起しても起

されてもいやな思いをするのは自分たちで、私の職場でも線閉で当りを出して責任を取られたのは入社2年目の監督員の照会者だった。監督員のあり方について問題があり、若手が2年で移動する事にも問題があり改善をしていかなければならない。コンプライアンスでアスベストでは関係者だけ教育されている。要員問題は難しく若手は職場でものを言えないが、皆で声を出せる職場環境を国労が作らなければならないと思う。組織拡大では20歳の若手が加入し、今定期委員会に参加されている。是非若い仲間を作る努力を皆でしていきたい。



二〇一四年度

電気協議会役員

- | | |
|-------|------------|
| 議長 | 高橋 広【神奈川県】 |
| 副議長 | 北島利則【千葉】 |
| 副議長 | 高橋英樹【秋田】 |
| 副議長 | 岸 三男【高崎】 |
| 副議長 | 井上美信【東京】 |
| 事務長 | 大角 浩【八王子】 |
| 各分科長 | |
| 強電分科 | 後藤寿昭【八王子】 |
| 弱電分科 | 千葉 薫【仙台】 |
| 新幹線分科 | 菅原清志【盛岡】 |
| 事務分科 | 大森良明【東京】 |
| 信号分科 | 佐藤光昭【東京】 |
| 通信分科 | 加藤英樹【東京】 |
| 変電分科 | 長谷部隆幸【大宮】 |
| 配電分科 | 今野弘樹【千葉】 |
| 会計監査 | 岡部貴一【東京】 |
| | 菊島高德【神奈川】 |



二〇一四年度交流会

来年の交流会受け入れ地電協は長野地電協となります。

開催日 六月二十八日～二十九日
場所 松本

※交流会基金が未納になっている地方は次回の役員地方代表者かいぎにて徴収しますので、宜しくお願いいたします。

各地電協定期委員会予定

- | | |
|------------|-----------|
| 水戸地電協定期委員会 | 十二月六日（土） |
| 千葉地電協定期委員会 | |
| 東京地電協拡大委員会 | 十二月十三日（土） |
| 高崎地電協定期委員会 | 十二月二十日（土） |
| 東京地電協定期委員会 | 三月二十八日（土） |